

StarBoard Software

ユーザーズガイド

ユーザーズガイド要求方法

本ユーザーズガイドを別途御要求のときは、**SBS0813-JP** とご指定ください。

本ユーザーズガイドはよく読み、大切に保管してください。

本製品をご使用になる前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

本ユーザーズガイドは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

SBS0813-JP

HitachiSoft

はじめに

このたびは日立ソフトの StarBoard をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本ユーザーズガイドは、パーソナルコンピュータ(以降、PC と表記します)についての知識がある方を対象にしています。

述べられている内容を理解し、正しく運用することをお願いいたします。

本製品を活用し、末永くご使用していただければ幸いです。

このガイドについて

『StarBoard Software ユーザーズガイド』は、StarBoard 専用ユーティリティソフトウェア「StarBoard Software」のチュートリアルです。

本書では、StarBoard Software のインストール方法と最も一般的な使い方を説明します。より高度な機能については、StarBoard Software のオンラインヘルプを参照してください。

StarBoard の取り扱い方法については、StarBoard のユーザーズガイドを参照してください。

必要なハードウェアとソフトウェア

StarBoard Software の動作環境は次のとおりです。

- **CPU** : Pentium II 300MHz 以上 (推奨 Pentium III 800MHz)
- **ハードディスクの空き容量** : 300MB 以上
- **メモリ** : 128MB 以上 (推奨 256MB)
- **ディスプレイ表示色** : High Color (16 ビット) 以上
- **オペレーションシステム (OS)** : Windows 2000/XP/Vista/7
(最新のサービスパックが適用されていること)
- **前提ソフトウェア** : Internet Explorer 6.0/7.0/8.0、PowerPoint 2002/2003/2007、DirectX 9.0c (それぞれ最新のサービスパックが適用されていること)
- **CD-ROM または DVD ドライブ**
- **その他** : ハードウェアオーバーレイ付のビデオカード (動画機能使用時)

動画・ネットワーク機能及び教材提示ツール(Web カメラ連携機能)を使用する場合には、Pentium 4 1.8GHz 以上、メモリ 512MB 以上の PC をお使いください。

本書における StarBoard Software の機能や手順の説明は、Windows XP (Service Pack 3) がインストールされたコンピューターに基づいて行っています。

異なる OS、または最新の OS での動作に関する情報は、日立ソフト社の Web サイト

<http://hitachisoft.jp/> を参照してください。

テクニカルサポート

StarBoard 製品に関する使用上のトラブルや技術的なご質問については、日立ソフトサポート窓口へお問い合わせください。

テクニカルサポートへのお電話でのお問い合わせ時には、下記の項目を確認させていただきますので、あらかじめお手元に控えをご用意ください。

また、Eメールでのお問い合わせ時にも下記の項目のご記入をお願いいたします。

- ・ お客さまのお名前（会社名、個人名 など）
- ・ 製品の種類（例：StarBoard FX-DU0-77）
- ・ シリアル番号（StarBoard 本体に付属しています）
- ・ お問い合わせ内容（具体的にご説明ください）

日立ソフトサポート窓口 (@Service24)

TEL 0120-273735
FAX 03-5479-8475
Web <http://service24.hitachisoft.jp>
E-mail starboard@hitachisoft.jp

免責事項

日立ソフトウェアエンジニアリング（株）は、本ユーザーズガイドに記載された内容に関して、明示、黙示の責任または保証を行いません。

また、特定の使用目的に対する保証、商品価値、及び適合性に対しても、一切保証いたしません。

本ユーザーズガイドに記載された日立ソフトウェアエンジニアリング（株）の製品は、全て現状のまま販売、または利用許諾されるものです。

上記の製品を購入されたユーザーは、本製品の欠陥により発生する必要なすべてのサービス、修理、損害、及び製品の欠陥により発生した、直接的または間接的な損害（利益の損失、必要な情報の損失を含む）に対して、これを負担します。

本書の内容の一部、または全部を無断で複製及び転載することは禁止されています。

本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。

この製品を運用した結果の損失などにつきましては、前項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

製品保証規定

本製品は日本国内での使用に限定させていただきます。

商標

Windows、Windows Vista、Internet Explorer、PowerPoint、DirectX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。また、製品およびサンプルファイル等に登場するデータは全て架空のものであり、実在する企業や人物とは一切関係ありません。

All Right Reserved, Copyright (c) 2009,2010, Hitachi Software Engineering Co.,Ltd.

目次

1. StarBoard Software のインストール	5
1.1 インストール方法.....	5
1.2 アンインストール方法	10
1.3 起動方法.....	11
2. StarBoard Software の使い方	12
2.1 位置合わせ.....	12
2.2 書く・消す.....	12
2.3 色・太さ変更	13
2.4 ホワイトボード上での操作.....	14
2.5 オブジェクト操作.....	14
2.6 PowerPoint ファイルを開く.....	16
2.7 ツールバー.....	18
2.8 ユーザプロファイル.....	19
2.9 資料パッケージャー.....	20
2.10 その他.....	22

1. StarBoard Software のインストール

この章では、StarBoard Software をコンピューターにインストールする手順について説明します。インストールするコンピューターの必要条件については、「必要なハードウェアとソフトウェア」(P. 1)の項を参照してください。また、ここではバージョン 8.13 の画面を使用していますが、他のバージョンをお使いの場合は適宜読み替えてください。

1.1 インストール方法

以下のものを準備してください。

- ・ StarBoard Software インストール CD
- ・ セットアップするコンピューター

※ StarBoard Software のインストール/アンインストールは、アドミニストレーター(コンピューターの管理者)権限を有するユーザーとしてログインして行ってください。

※ StarBoard Software のインストールが完了するまで、StarBoard をコンピューターに接続しないでください。インストールを行わずに接続した場合、機器が正常に動作しない場合があります。

以下の手順に従い、StarBoard Software のインストールを行ってください。

(1) StarBoard Software のインストール CD を CD-ROM/DVD ドライブにセットします。自動インストーラが起動し、インストールするソフトウェアを選択する画面が表示されます。[StarBoard Software] をクリックしてください。この画面が自動で起動しない場合には、エクスプローラから CD-ROM/DVD ドライブ内を参照し、[Setup.exe] ファイルをダブルクリックしてください。

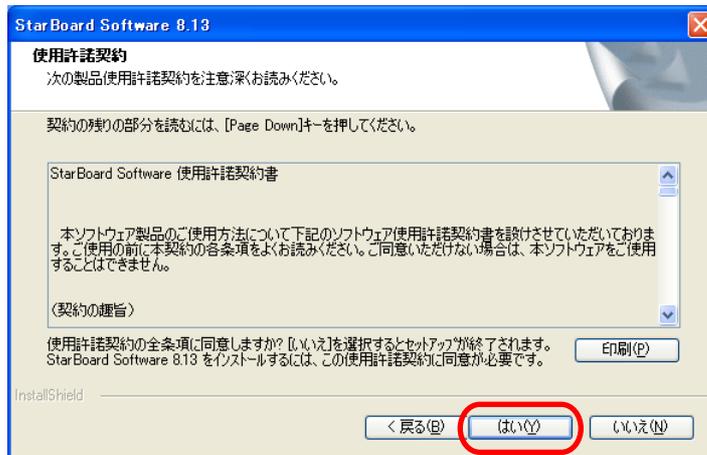
(ダウンロード提供の StarBoard Software をお使いの場合、この画面は表示されません。[StarBoard Software セットアッププログラムへようこそ]画面に進んでください。)



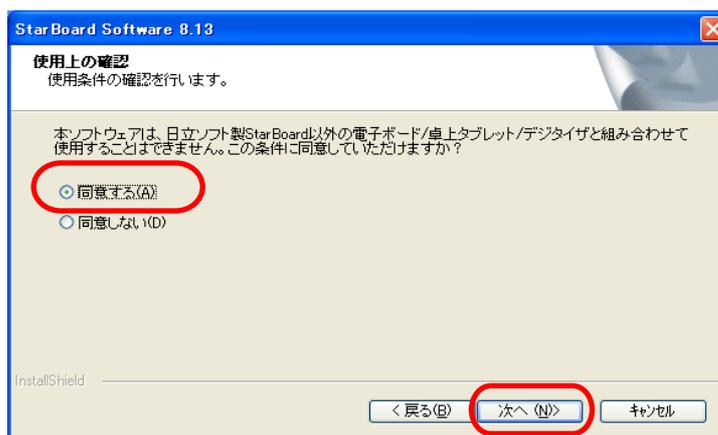
[StarBoard Software セットアッププログラムへようこそ]画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



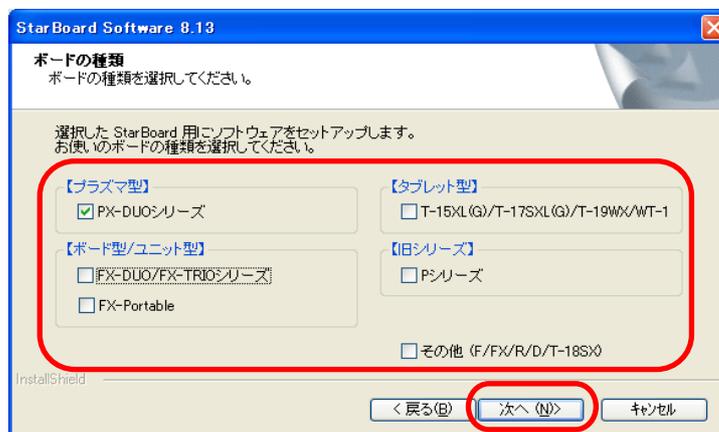
- (2) [使用許諾契約] 画面が表示されます。使用許諾契約の内容をよくお読みになり、契約内容に同意される場合は[はい]をクリックしてください。契約内容に同意されない場合は[いいえ]をクリックしてセットアップを中止してください。



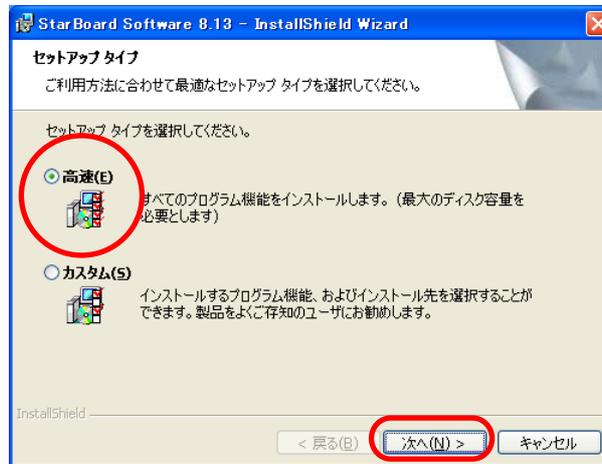
- (3) [使用上の確認] 画面が表示されます。StarBoard Software は StarBoard 専用ユーティリティソフトウェアです。使用条件に同意される場合は[同意する]を選択し、[次へ]をクリックしてください。使用条件に同意されない場合は[同意しない]を選択し、[キャンセル]をクリックしてセットアップを中止してください。



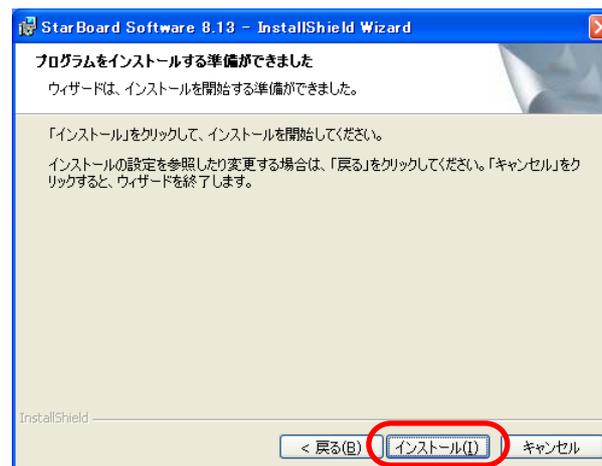
- (4) [ボードの種類] 画面が表示されます。ご使用になる StarBoard の種類を選択し、[次へ]をクリックしてください。



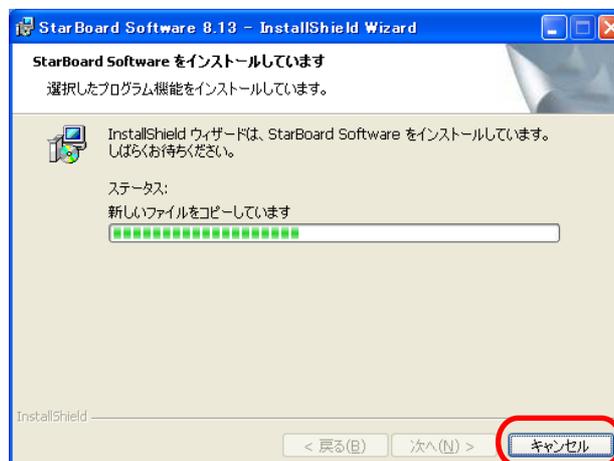
- (5) [セットアップタイプ] 画面が表示されます。[高速] を選択し、[次へ] をクリックしてください。
- [高速] セットアップでは StarBoard Software は “Program Files” にインストールされ、スタートアップに登録されます。カスタムセットアップでは、インストール先を変更したり、起動方法などのオプション設定を変更したりすることができます。オプション設定はインストール後に変更することが可能です。



- (6) [プログラムをインストールする準備ができました] 画面が表示されます。[インストール] をクリックすると、StarBoard Software のインストールが開始します。



セットアップ中に [キャンセル] ボタンをクリックすると、セットアップが中止されます。



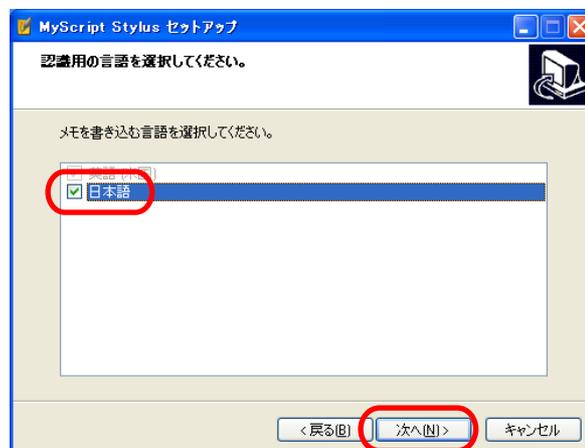
- (7) Windows Media Encoder のインストールが始まります。画面の指示に従ってインストールしてください。(※Windows 7 では、Windows Media Encoder はインストールされません。)
- ※ Windows Media Encoder のインストールが正常に終了しなかった場合は、PC を再起動してから再度インストールしてください。



- (8) インストールが終了すると、手書き文字認識ソフトウェア MyScript Stylus のインストールを問い合わせる画面が表示されます。MyScript Stylus をインストールする場合は[はい]を押して下さい。MyScript Stylus のインストールが始まりますので、画面の指示に従ってインストールしてください。インストールしない場合は[いいえ]を押して下さい。
- ※ MyScript Stylus は Windows 2000 非対応のため、Windows 2000 をお使いの場合はこの画面は表示されません。また、ダウンロード提供の StarBoard Software をお使いの場合も、この画面は表示されません。

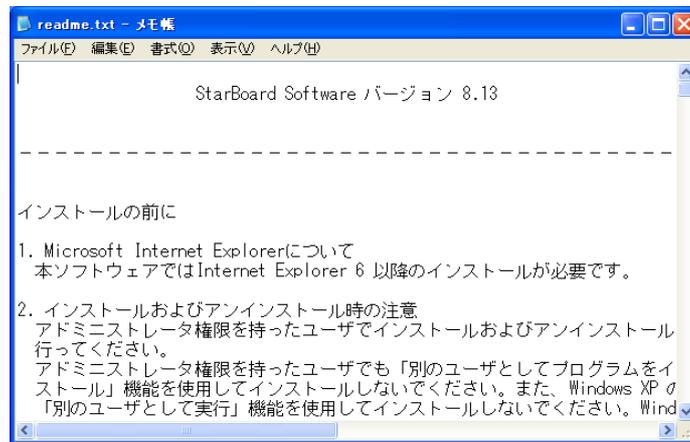


MyScript Stylus で日本語の手書き文字認識を使用するには、以下の画面で[日本語]のチェックボックスを有効にし、[次へ]をクリックしてください。



(9) インストールが終了すると readme.txt が表示されます。内容をお読みいただいた後、ウィンドウを閉じてください。

※ readme.txt には、StarBoard Software で追加・修正されたプログラムの詳細情報や、本ソフトウェアの使用に関する注意事項が記載されています。



(10) readme.txt を閉じるとセットアップの完了画面が表示されます。[はい、今すぐコンピューターを再起動します] を選択すると、コンピューターが再起動しインストールが完了します。[いいえ、後でコンピューターを再起動します] を選択した場合でも、必ず後でコンピューターの再起動を行ってください。



お使いのコンピューターによっては[セットアップの完了]画面が表示されます。その場合はそのまま[完了]ボタンをクリックしてください。



1.2 アンインストール方法

ここでは、StarBoard Software をアンインストールする方法について説明します。

- (1) ① Windows 2000 の場合
[スタート] ボタンをクリックし、[設定] > [コントロールパネル] を選択し、[アプリケーションの追加と削除] をクリックしてください。
 - ② Windows XP の場合
[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] をクリックしてください。
 - ③ Windows Vista, Windows 7 の場合
[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] を選択し、[プログラムと機能] をクリックしてください。
-
- (2) [プログラム (アプリケーション) の追加と削除] のリストから、[StarBoard Software] を選択し、[追加と削除] (2000, XP は [変更と削除]、Vista, 7 は [アンインストール]) をクリックします。
-
- (3) 確認ダイアログが表示されます。アンインストールを実行する場合は [OK] をクリックしてください。StarBoard Software のアンインストールが開始されます。

1.3 起動方法

以下の手順で、StarBoard Software を起動してください。

- (1) PC の電源スイッチを入れ、Windows を起動します。
- (2) StarBoard Software が自動的に起動します。
起動完了後、画面上にツールバーが出現します。



手動での起動方法

[スタート] > [すべてのプログラム] > [StarBoard Software] > [StarBoard Software] を選択します。

画面中央に StarBoard が接続されていない旨のメッセージが表示された場合は、StarBoard Software が StarBoard を検出していません。StarBoard と PC がきちんと接続されているかを確認してください。

ツールバーの[設定] > [StarBoard] > [接続確認する]を選択すると StarBoard Software が StarBoard の接続確認を行います（接続確認完了まで数十秒かかります）。

正しく接続されると「ボードの接続を確認しました。」というメッセージが画面中央に表示されます。

2. StarBoard Software の使い方

この章では、StarBoard Software の使い方について説明します。

説明文中にて「電子ペン」「デジタイザ」という名称を使用しています。これらは、StarBoard を構成する部品の名称です。詳細は StarBoard のユーザーズガイドを参照してください。

2.1 位置合わせ

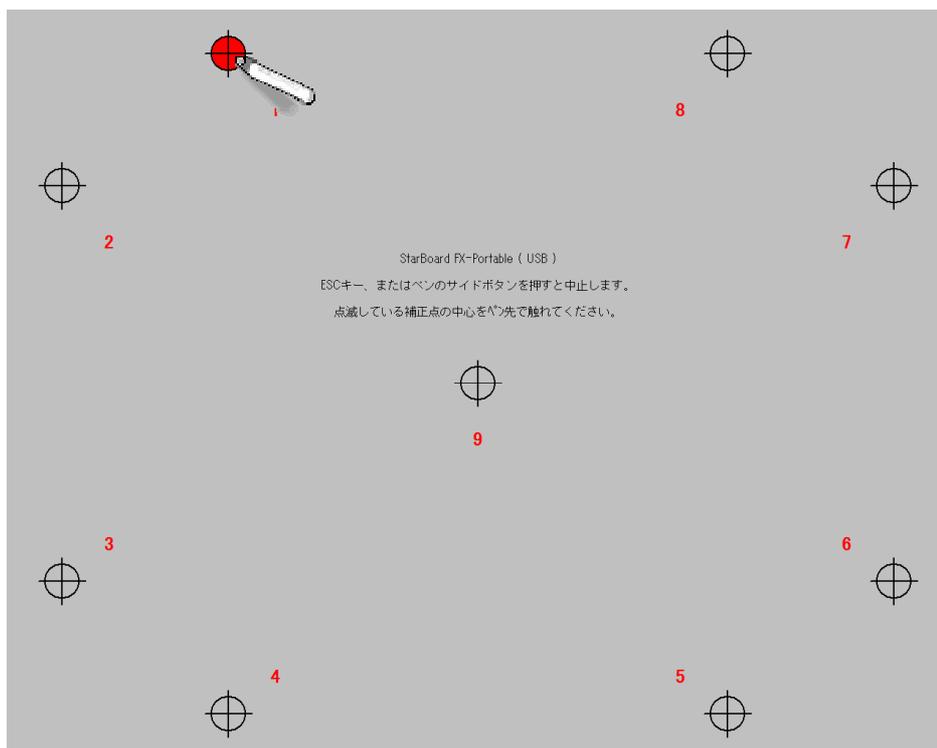
本操作は、電子ペンのペン先とマウスカースルの位置を合わせるために行います。

また、デジタイザ位置がずれている可能性がありますので、ご使用前には必ず位置合わせを行ってください。

ツールバーから[設定] > [StarBoard] > [位置合わせを行う]を選択します。

[ペンの位置合わせ]ダイアログが表示されますので[OK]を選択してください。

表示された画面の中央に表示される指示に従い、点滅している赤色のマークの中心を電子ペンで触れ、赤色の点滅が緑色に変わったら電子ペンをボード面から離してください。9箇所正常に入力されると、終了した旨のメッセージが表示されるので、[OK]を選択してください。



2.2 書く・消す

手書きを行う場合は、[ツール] > [手書きペン]を選択して、書いてください。

手書きした線はオブジェクトとなり、移動や変形などの操作が行えます。

※ 移動や変形を行うときは[編集] > [選択]を選択して、オブジェクトを選択状態にした上で操作してください。

書いた線を消す場合は、[ツール] > [イレーサ]を選択して、消してください。

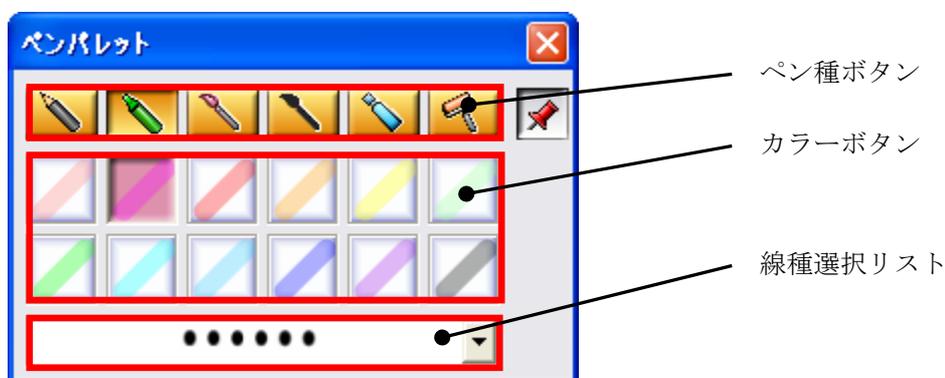
HINT!

手書き時におけるデフォルトの設定では、電子ペンのサイドボタン No.1 (ペン先から遠いほう) に[イレーサ]が割り当たります。こちらのサイドボタンを押したまま手書き線の上をなぞると、消すことができます。

書いた線をすべて消す場合は、[ツール] > [クリア]を選択してください。

2.3 色・太さ変更

色を変更する場合は、[ツール] > [ペンパレット]を選択して、好みの色を選択します。[ペン種]を変更する場合は、好みのペン種ボタンを選択します。ペン種内で好みの色がトグル (凹んだ状態) されていない場合は、カラーボタンを押して好みの色を再度選択してください。線種を変更する場合は、線種選択リストで好みの線種 (実線、点線など) を選択します。現在選択中のペン種によっては線種を変更することはできません。



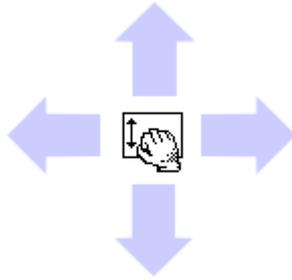
太さを変更する場合は、[ツール] > [太さ変更]を選択して、好みの太さを選択します。線の太さは、スライドバーの調整、もしくはボタンの選択の二種類の方法によって変更できます。



2.4 ホワイトボード上での操作

[資料] > [白紙を追加]を選択します。

ホワイトボード上でスクロールを行うには、[表示] > [スクロール]を選択します。カーソルを移動させて画面をスクロールします。



HINT!

手書き時におけるデフォルトの設定では、電子ペンのサイドボタン No. 0 (ペン先に近いほう) に [スクロール] が割り当たります。こちらのサイドボタンを押したままカーソルを移動すると、スクロールが行えます。

2.5 オブジェクト操作

オブジェクトとは、手書き線や図形、テキスト、クリップアートなどそれぞれを指します。これらは移動・変形・回転などの操作を行うことができます。

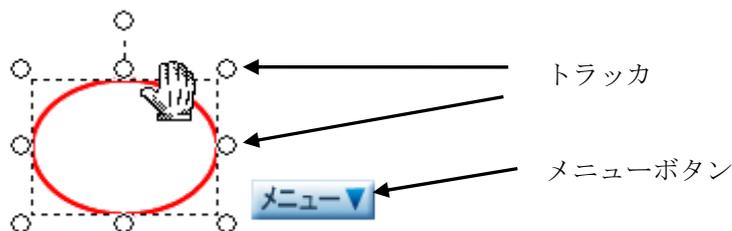
色々なオブジェクトを作成するには [インテリペン] が便利です。[インテリペン] で書いた図形は自動で整形されます。[インテリペン] を使用するには、[ツール] > [インテリペン] を選択します。

手書きの楕円形を正楕円形に整形したい場合は、始点と終点をなるべく近い位置になるように楕円を描きます。電子ペンを離れたあと少し待ってから、自動的に正楕円形に整形されます。

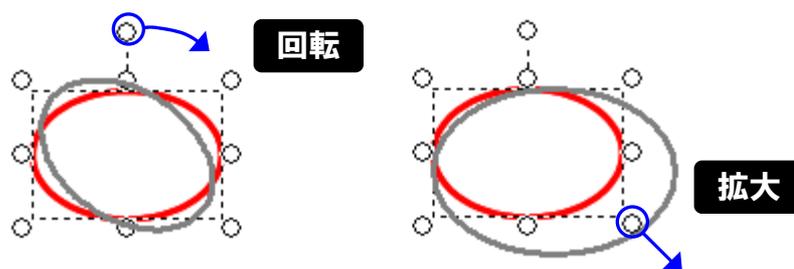
※ 正楕円形に整形されなかった場合は、もう一度丁寧に描いてみてください。



整形された楕円の線上をタップする (画面上を軽く叩く) と、オブジェクトが選択状態になります。また、それと同時に近くにメニューボタンが表示されます。



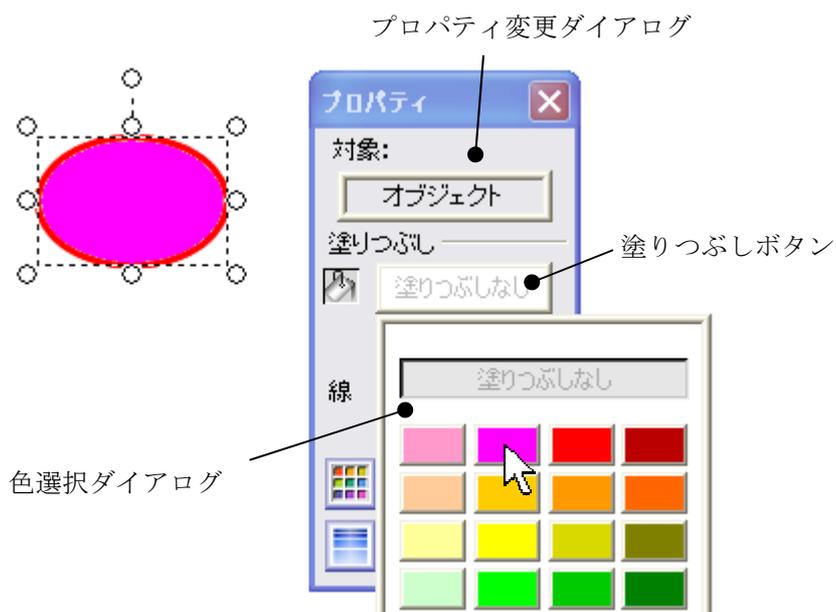
選択矩形周辺のトラッカをドラッグすることで楕円オブジェクトの変形・回転が行えます。



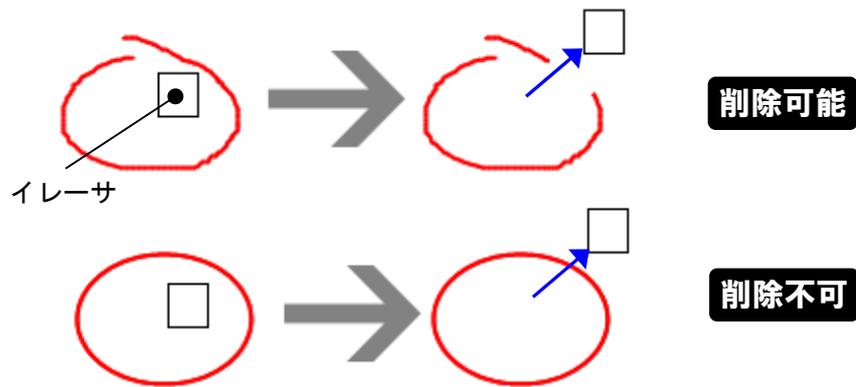
また、メニューボタンを押して表示されるメニューから様々な操作を行えます。
 例えば、楕円オブジェクトの塗りつぶしを行う場合、メニューから[プロパティ変更]を選択します。



プロパティ変更ダイアログ上の[塗りつぶし]ボタンを選択して、色選択ダイアログを表示します。色選択ダイアログ上で好みの色を選択してください。該当するオブジェクトが塗りつぶされます。



手書き線以外のオブジェクト（整形されたオブジェクトも含む）は、イレーサで消すことはできません。



これらを消す場合は、メニューから[削除]を選択するか、消したいオブジェクトと交差させるように、インテリペンで×（ぼつ）と書いてください。

※ 手書きの×で削除に失敗した場合、×の1画目と2画目を1秒以内にもう一度描いてみてください。



※ 本例では、楕円について触れましたが、その他の図形として、四角形／三角形／ひし形／五角形／六角形／星形／直線／矢印についても同様に整形できます。

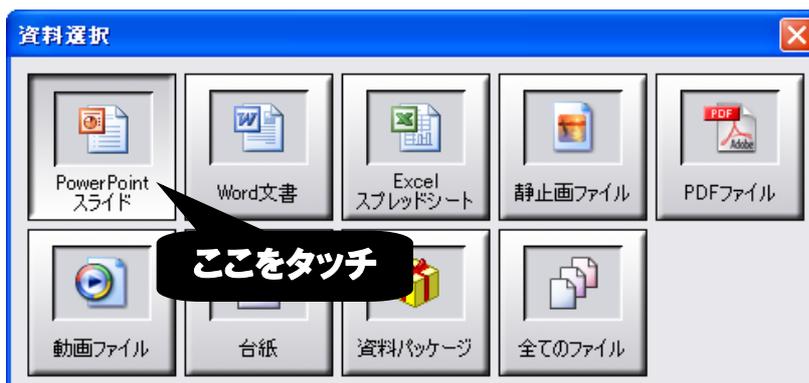
HINT!

[インテリペン]を画面以上にタッチしたまましばらく静止すると、カーソルが羽ペンからスクロールのアイコンに変わり、そのままドラッグの要領により画面全体をスクロールすることができます。

2.6 PowerPoint ファイルを開く

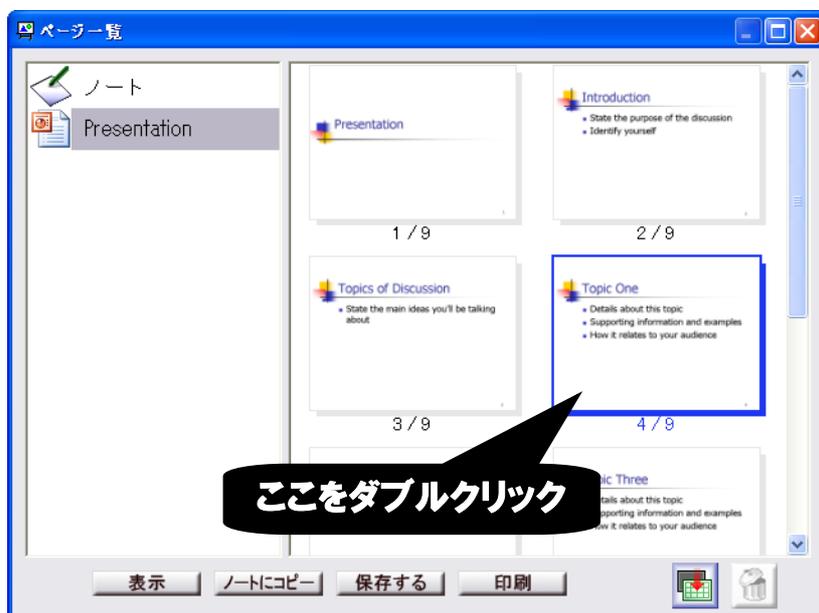
[資料] > [資料を表示]を選択します。

資料選択ダイアログが表示されますので、[PowerPoint スライド]ボタンを押して、開きたいファイルを選択します。



しばらく待ってから、PowerPoint スライドショーが開始します。

スライドの移動は、[表示] > [次へ]、[表示] > [前へ]で操作します。また、スライドを一覧表示したい場合は、[表示] > [ページ一覧]を選択します。目的のスライドを開く場合、[ページ一覧]ダイアログ内のスライドをダブルクリックします。(下図の例の場合、4 ページ目のスライドを開きます)



ホワイトボードに書き込むのと同じように、直接スライド上に文字や図形を書き込むことができます。

PowerPoint 上に埋め込まれたハイパーリンク等の操作を実行する場合、[設定] > [ペンボタン設定]からペン先の割り当てを[左クリック]に変更してください。



また、マウス操作完了後、手書きを再開する場合は、ペン先の割り当てを[手書きペン]に変更してください。

HINT!

元のトピック (ホワイトボードモードなど)に戻りたい場合は、[ページ一覧]ダイアログ左側にあるトピック一覧リストから目的のトピック (ノートなど) をダブルクリックします。

2.7 ツールバー

ツールバーでは、よく使うアイテムを[お気に入り]に登録したり、不要なアイテムを削除することができます。

登録する場合、メニュー上のアイコンをドラッグ&ドロップして、[お気に入り]に追加します。



削除する場合、目的のアイコンをしばらく押したあと（カーソルが十字矢印に変わります）、[お気に入り]からツールバー外へドラッグ&ドロップして削除します。



2.8 ユーザプロフィール

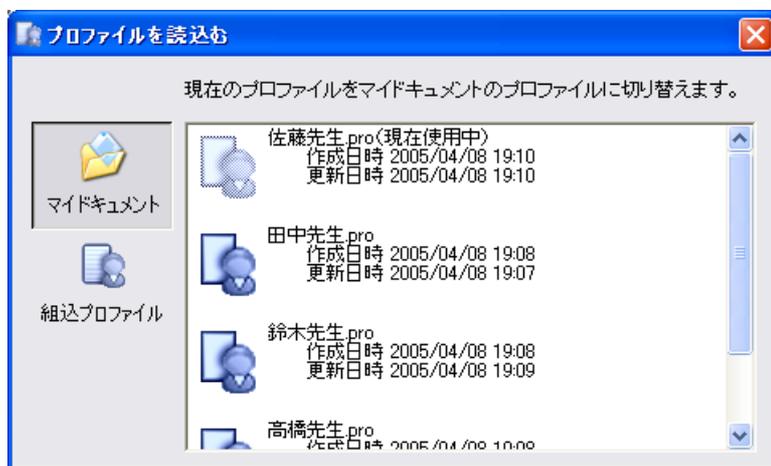
ユーザプロフィールを利用して、個人ごとの設定を管理することが可能です。

例えば、ツールバーのお気に入りアイコンの並びを変更して、それを自分独自の設定として扱いたい場合、[設定] > [プロフィール] > [名前を付けて保存]を選択します。プロフィール保存ダイアログが表示されますので、[保存名]を入力してから、[保存する]ボタンを押します。



また、StarBoard Software 起動時には、前回最後に使用していたユーザプロフィールが自動的に読み込まれます。自分独自のプロフィールを明示的に読み込むには、[設定] > [プロフィール] > [読み込む]を選択します。

プロフィール読み込みダイアログが表示されますので、目的のプロフィールを選択します。ダイアログが消えて、選択したプロフィールの設定がすぐに反映されます。



HINT!

[組込プロフィール]は、特定の用途ごとにお奨めの設定を組み込んだ雛形のプロフィールです。ツールバーのお気に入りアイコンが増えすぎて、リセットしたいときなどにご利用ください。

HINT!

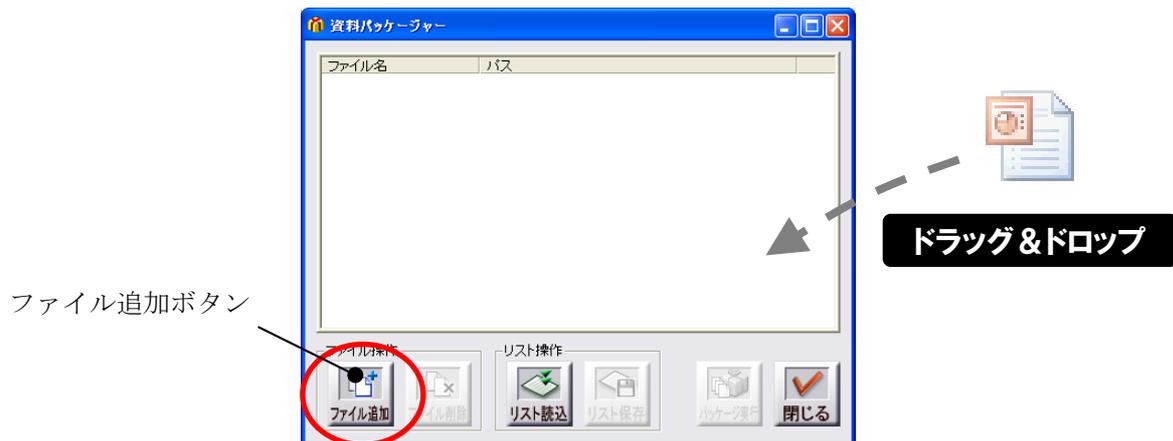
プロフィールをUSBメモリに保存しておき、外出先のコンピューターでプロフィールを読み込めば、どこでも同じ設定でStarBoard Softwareを使うことができます。

2.9 資料パッケージャー

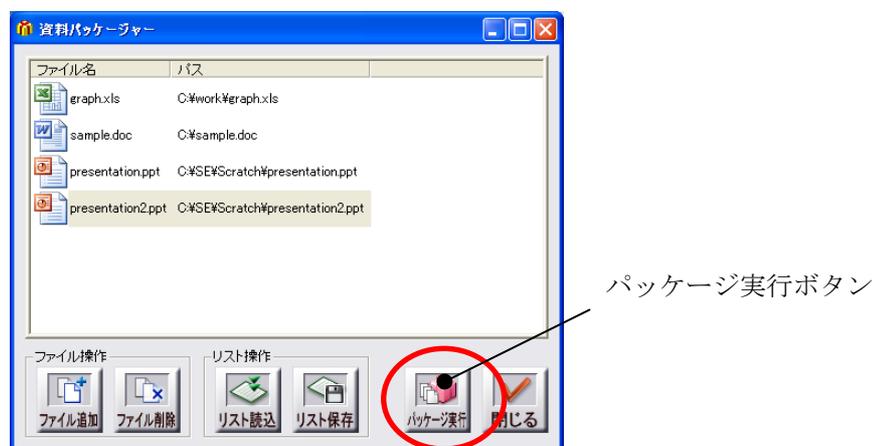
資料パッケージャーを利用して、複数の資料ファイルを1つのファイルとして保存（パッケージ化）することが可能です。

資料パッケージャーを起動する場合、Windows の[スタート] > [すべてのプログラム] > [StarBoard Software] > [資料パッケージャー]を選択します。資料パッケージャー画面が表示されます。

資料ファイルをパッケージ化する場合、①[ファイル追加]ボタンをクリックしてパッケージ化したい資料ファイルを選択する、もしくは②資料パッケージャー画面にパッケージ化したい資料ファイルをドラッグ & ドロップする二種類の方法によって、まず資料ファイルを登録します。



パッケージ化したい資料ファイルをすべて登録したら、[パッケージ実行]ボタンを押します。



パッケージ化が終了すると、[終了]ダイアログボックスが表示され、指定した保存先・ファイル名でパッケージ化したファイル（パッケージファイル）が保存されます。

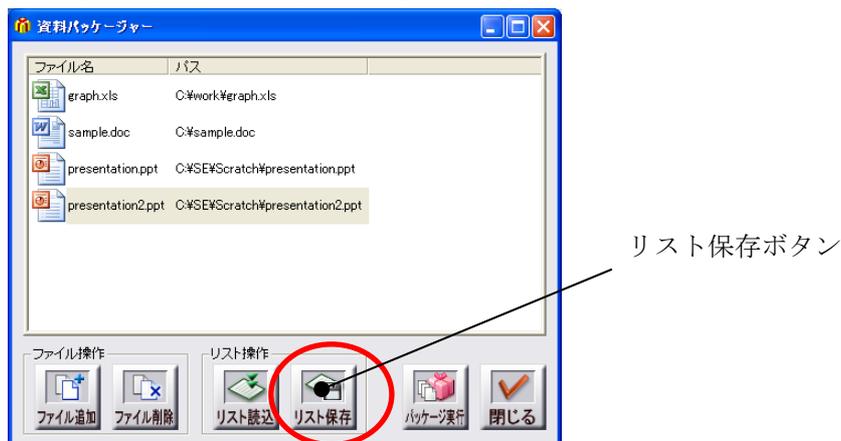


パッケージファイルは cab 形式の圧縮ファイルになります。



資料パッケージ (第5回業
務発表会).cab

パッケージ化した資料ファイルの一覧をリストファイル（パッケージリスト）として保存することができます。パッケージリストを更新することで、パッケージファイルの内容を容易に変更することが可能です。パッケージリストを保存する場合、[リスト保存]ボタンを押します。

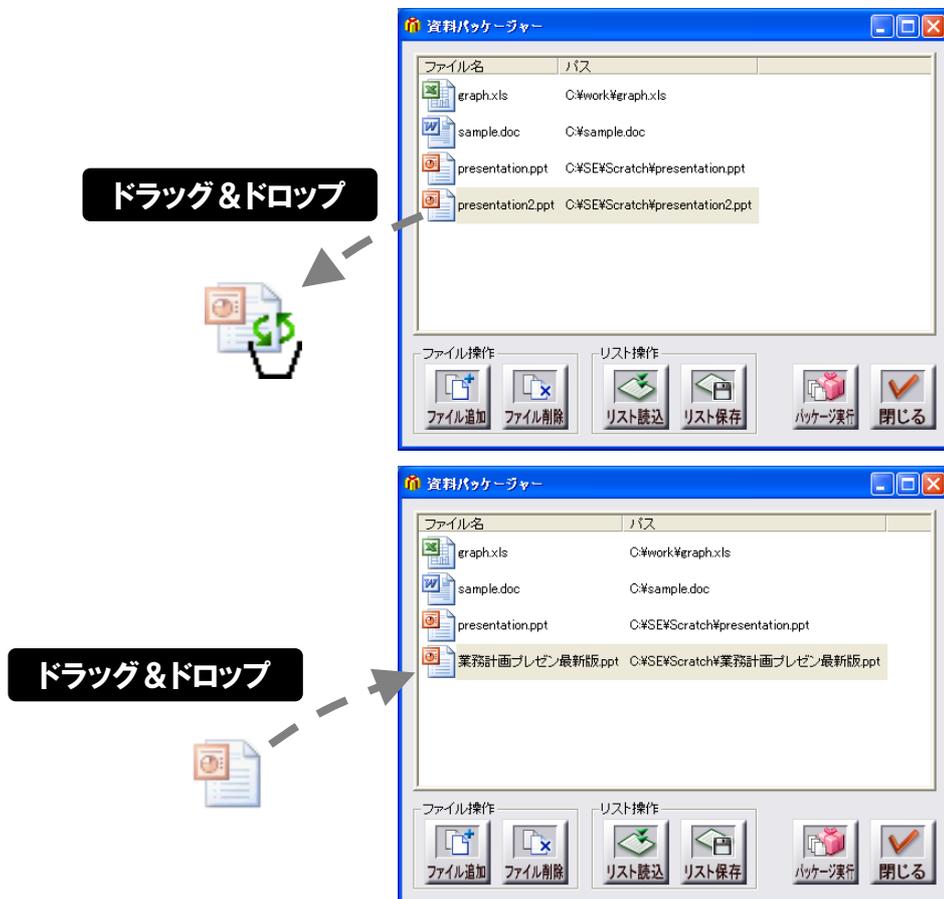


指定した保存先・ファイル名でパッケージリストが保存されます。



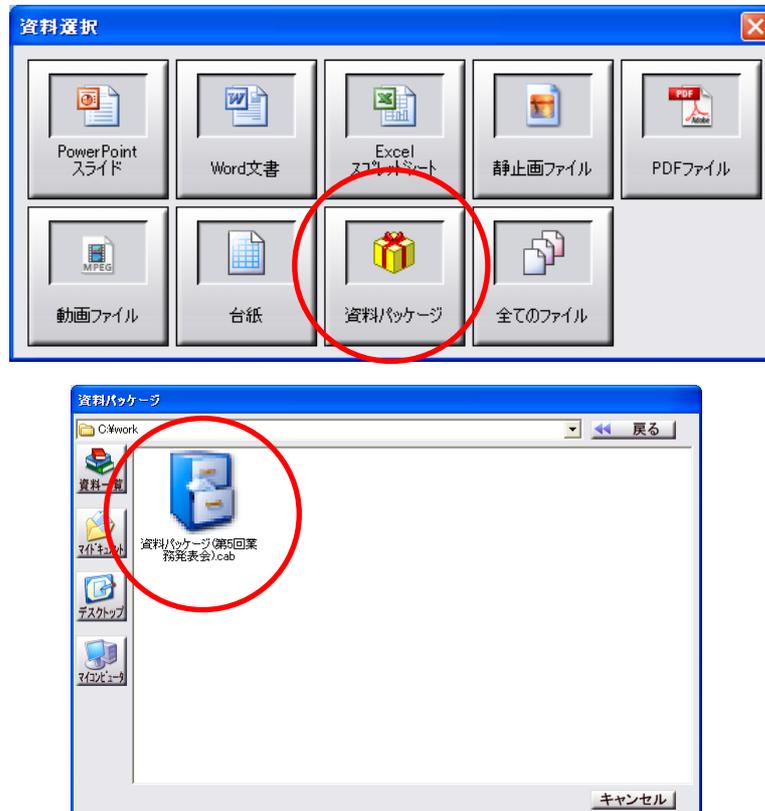
パッケージ情報(第5回業務発表会).dpl

パッケージファイルの内容を変更する場合、まず[リスト読込]ボタンを押して指定したパッケージリストを読み込み、登録されている資料ファイルを資料パッケージャー画面に表示します。パッケージファイルから資料ファイルを削除したい場合は、削除する資料ファイルを画面の外にドラッグ&ドロップします。資料ファイルを追加したい場合は、追加する資料ファイルを画面内にドラッグ&ドロップします。



変更が完了したら、[リスト保存]ボタンを押してパッケージリストを上書き保存します。続いて[パッケージ実行]ボタンを押してパッケージファイルを上書き保存することで、内容を変更したパッケージファイルが作成されます。

StarBoard Software でパッケージファイルを開く場合、[資料] > [資料を表示]を選択します。資料選択ダイアログが表示されますので、[資料パッケージ]ボタンを押して、開きたいファイルを選択します。



パッケージファイルにまとめられている資料ファイルがすべて開かれます。

HINT!

資料パッケージャーは、StarBoard をご利用のユーザーの皆様に関り、再配布が許可されていません。資料パッケージャー (DocumentPackager.exe) は、StarBoard Software をインストールした場所にあります。

資料パッケージャーのインストール方法は、DocumentPackager.exe をコピーし、お使いのコンピューターの任意の場所に保存するだけです。複製した DocumentPackager.exe のアイコンをダブルクリックすると、資料パッケージャーのプログラムが起動します。

資料パッケージャーを、StarBoard 用の資料をパッケージ化する以外の用途には決して使用しないでください。不適切な利用の結果によるトラブル等については、保証対象外となりますのでご注意ください。

2.10 その他

その他の機能の詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。